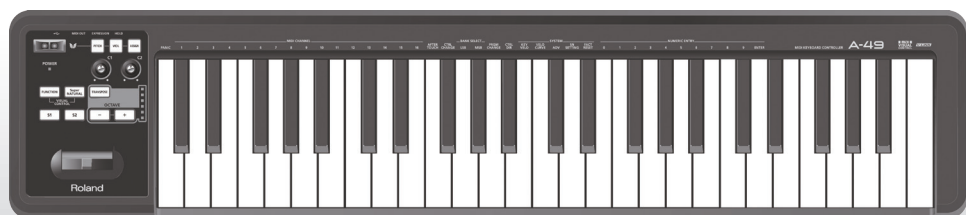


Roland



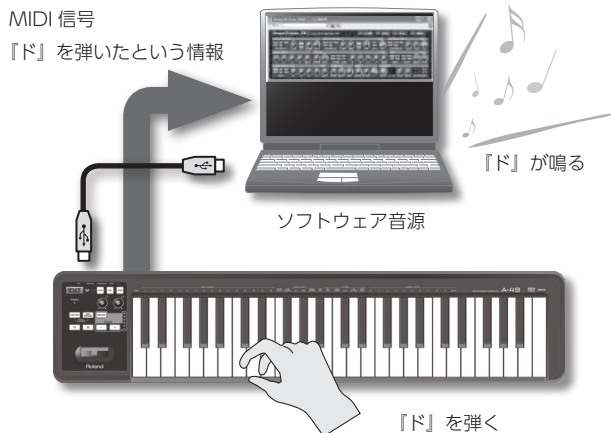
A-49

MIDI KEYBOARD CONTROLLER

取扱説明書

MIDI とは

MIDI (ミディ) とは、電子楽器やパソコンで演奏情報をやり取りする世界共通規格です。たとえば下の図では、A-49 の『ド』の音を弾いた』という MIDI 信号がパソコンのソフトウェア音源に届き、ソフトウェア音源から “ド” の音が鳴ります。



このように、MIDI は、「『ド』の音のある強さで弾く」、「楽器の音をバイオリンに変える」、「音量を大きく／小さくする」、「音の高さ（ピッチ）を高くしたり低くしたりする」などの演奏情報を他の楽器に伝えます。つまり、MIDI とは「楽器の言葉」なのです。

MIDI は演奏の指示を与える信号だけなので、音を鳴らすためにはソフトウェア音源などの MIDI 音源が必要になります。

世界中のソフトウェア音源や DAW（Digital Audio Workstation）ソフトウェアが MIDI に対応しています。

メモ

DAW ソフトウェアとは、SONAR など音楽制作ソフトウェアの総称です。

ご注意！

ドライバーをインストールする (P.13) までは、A-49 をパソコンにつながないでください。

この機器を正しくお使いいただくために、ご使用前に『安全上のご注意』(P.3) と『使用上のご注意』(P.4) をよくお読みください。また、この機器の優れた機能を十分ご理解いただくためにも、取扱説明書をよくお読みください。取扱説明書は必要なときにすぐに見ることができるよう、手元に置いてください。

安全上のご注意

火災・感電・傷害を防止するには

△警告と△注意の意味について

 警告	取り扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を表しています。
 注意	取り扱いを誤った場合に、使用者が傷害を負う危険が想定される場合および物的損害のみの発生が想定される内容を表しています。 ※物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットにかかわる拡大損害を表しています。

図記号の例

	△は、注意（危険、警告を含む）を表しています。 具体的な注意内容は、△の中に描かれています。 左図の場合は、「一般的な注意、警告、危険」を表しています。
	⊘は、禁止（してはいけないこと）を表しています。 具体的な禁止内容は、⊘の中に描かれています。 左図の場合は、「分解禁止」を表しています。
	●は、強制（必ずすること）を表しています。 具体的な強制内容は、●の中に描かれています。 左図の場合は、「電源プラグをコンセントから抜くこと」を表しています。

----- 以下の指示を必ず守ってください -----

警告

分解や改造をしない

本機を分解したり、改造したりしないでください。



個人で修理や部品交換はしない

修理／部品の交換などで、取扱説明書に書かれていないことは、絶対にしないでください。必ずお買い上げ店またはローランドお客様相談センターに相談してください。



次のような場所で使用や保管はしない

次のような場所に設置しないでください。

- 温度が極端に高い場所（直射日光の当たる場所、暖房機器の近く、発熱する機器の上など）
- 水気の近く（風呂場、洗面台、濡れた床など）や湿度の高い場所
- 湯気や油煙が当たる場所
- 塩害の恐れがある場所
- 雨に濡れる場所
- ほこりや砂ぼこりの多い場所
- 振動や揺れの多い場所



警告

不安定な場所に設置しない

本機を、ぐらつく台の上や傾いた場所に設置しないでください。必ず安定した水平な場所に設置してください。



異物や液体を入れない、液体の入った容器を置かない

本機に、異物（燃えやすいもの、硬貨、針金など）や液体（水、ジュースなど）を絶対に入れないでください。また、この機器の上に液体の入った容器を置かないでください。ショートや誤動作など、故障となることがあります。



異常や故障が生じたときは電源を切る

次のような場合は、直ちにUSBケーブルを抜いて、お買い上げ店またはローランドお客様相談センターに修理を依頼してください。



- 煙が出たり、異臭がしたりしたとき
- 異物が内部に入ったり、液体がこぼれたりしたとき
- 機器が（雨などで）濡れたとき
- 機器に異常や故障が生じたとき

使用上のご注意

⚠ 警告

お子様の取り扱いに注意する

お子様のいる場所で使用する場合、お子様の取り扱いやいたずらに注意してください。必ず大人のかたが、監視／指導してあげてください。



落としたり、強い衝撃を与えたりしない

本機を落としたり、本機に強い衝撃を与えないでください。



CD-ROM をオーディオ CD プレーヤーで再生しない

CD-ROM を、一般のオーディオ CD プレーヤーで再生しないでください。大音量によって耳を痛めたり、スピーカーが破損したりする恐れがあります。



⚠ 注意

コードやケーブルは煩雑にならないように配線する

接続したコードやケーブル類は、煩雑にならないように配慮してください。特に、コードやケーブル類は、お子様の手が届かないように配慮してください。



上に乗ったり、重いものを置いたりしない

本機の上に乗ったり、機器の上に重いものを置いたりしないでください。



移動するときはすべての接続をはずす

本機を移動するときは、外部機器との接続をはずしてください。



使用上のご注意

電源について

- 接続するときは、誤動作や故障を防ぐため、必ずすべての機器の電源を切ってください。

設置について

- 本機をテレビやラジオの近くで動作させると、テレビ画面に色ムラが出たりラジオから雑音が出たりすることがあります。この場合は、本機を遠ざけて使用してください。
- 直射日光の当たる場所や発熱する機器の近く、閉め切った車内などに放置しないでください。変形、変色することがあります。
- 極端に温湿度の違う場所に移動すると、内部に水滴がつく（結露する）ことがあります。そのまま使用すると故障の原因になります。数時間放置して、結露がなくなってから使用してください。

- 鍵盤の上に物を置いたままにしないでください。発音しなくなるなど、故障の原因になります。
- 設置条件（設置面の材質、温度など）によっては、本機のゴム足が設置した台などの表面を変色または変質させることがあります。ゴム足の下にフェルトなどの布を敷くと、安心してお使いいただけます。この場合、本機が滑って動いたりしないことを確認してからお使いください。
- 本機の上に水の入った容器、殺虫剤、香水、アルコール類、マニキュア、スプレー缶などを置かないでください。また、表面に付着した液体は、速やかに乾いた柔らかい布で拭き取ってください。

お手入れについて

- 通常のお手入れは、柔らかい布で乾拭きするか、固く絞った布で汚れを拭き取ってください。汚れが激しいときは、中性洗剤を含んだ布で汚れを拭き取ってから、柔らかい布で乾拭きしてください。

- ・ 変色や変形の原因となる、ベンジン、シンナー、アルコール類は使用しないでください。

修理について

- ・ お客様が本機を分解、改造された場合、以後の性能について保証できなくなります。また、修理をお断りする場合があります。
- ・ 修理に出されると、初期化されます。失われた記録内容の修復に関しましては、補償も含めご容赦願います。
- ・ 当社では、本機の補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を、製造打切後6年間保有しています。この部品保有期間を修理可能の期間とさせていただきます。なお、保有期間を過ぎた後でも、故障箇所によっては修理可能な場合がありますので、お買い上げ店、またはローランドお客様相談センターにご相談ください。

その他の注意について

- ・ 記憶した内容は、機器の故障や誤った操作などによって失われることがあります。
- ・ 失われた記憶内容の修復に関しましては、補償を含めご容赦願います。
- ・ 故障の原因になりますので、ボタン、つまみ、入出力端子などに過度の力を加えないでください。
- ・ ケーブルを抜くときは、ショートや断線を防ぐため、プラグ部分を持って引き抜いてください。
- ・ 音楽をお楽しみになる場合、周囲に迷惑がからないように、音量に十分注意してください。
- ・ 輸送や引っ越しをするときは、本機が入っていた箱と緩衝材、または同等品で梱包してください。
- ・ 本機が入っていた梱包箱や緩衝材を廃棄するときは、各地域のゴミの分別基準に従ってください。
- ・ エクスプレッション・ペダルは、必ず指定のもの（別売：EV-5、EV-7）をお使いください。他社製品を接続すると、本体の故障の原因になる場合があります。

- ・ D ビーム・コントローラーの有効範囲は、強い直射日光の下では極端に小さくなってしまいます。屋外でDビーム・コントローラーを使用するときはご注意ください。

CD / DVD の取り扱い

- ・ ディスクの裏面（信号面）に触れたり、傷をつけたりしないでください。データの読み出しがうまくできなくなることがあります。ディスクの汚れをとる場合は、市販の専用クリーナーを使用してください。

著作権／ライセンス／商標について

- ・ 同梱の CD-ROM や DVD-ROM を開封する前に、必ず「使用許諾契約書」をお読みください。CD-ROM や DVD-ROM を開封した時点で、使用許諾契約書に記載された事項をご承諾いただいたこととなります。
- ・ MMP (Moore Microprocessor Portfolio) はマイクロプロセッサのアーキテクチャーに関する TPL (Technology Properties Limited) 社の特許ポートフォリオです。当社は、TPL 社よりライセンスを得ています。
- ・ 本書では Microsoft Corporation のガイドラインに従って画面写真を使用しています。
- ・ Roland, SuperNATURAL は、日本国およびその他の国におけるローランド株式会社の商標または登録商標です。
- ・ Cakewalk は、米国 Cakewalk, Inc. の米国における登録商標です。
- ・ SONAR は、米国 Cakewalk, Inc. の商標です。
- ・ MIDI は社団法人音楽電子事業協会 (AMEI) の登録商標です。
- ・ 文中記載の会社名及び製品名は、各社の登録商標または商標です。

使いかた早見表

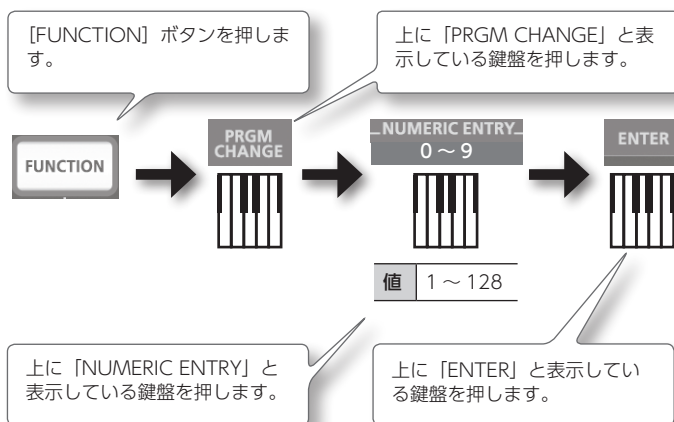
演奏する	動作モードを切り替える (PLAY / FUNCTION / SuperNATURAL / MIDI Visual Control)	P.22
	MIDI 送信チャンネルを設定する (MIDI CHANNEL)	P.26
	音色を替える ([S1] [S2] ボタン)	P.26
	演奏する	—
	オクターブ・シフト、トランスポーズ	P.28
	ピッチ・ベンド、モジュレーション	P.29
	D ビーム	P.30
	[C1] [C2] つまみ	P.31
	ホールド、エクスプレッション	P.32
	アフタータッチ	P.33
	鳴りやまない音を止める	P.33
	SuperNATURAL 音源を使って演奏する	P.24
	MIDI Visual Control 対応の映像機器をコントロールする	P.25
A-49 の設定を変える	ペロシティー・カーブを変える (VELO CURVE)	P.35
	押さえた鍵のペロシティー値を設定する (KEY VELO)	P.36
	つまみ、ボタン、端子に割り当てる機能を替える	P.37
	SuperNATURAL モードでの [C2] つまみの機能を切り替える (SN SETTING)	P.36
	つまみ、D ビーム・コントローラー、ボタン、ペダルの値の大きくなる 向きを変える (CTRL DIR)	P.40
	使用するドライバーを専用か OS 標準か切り替える	P.40
	工場出荷時の状態に戻す (FACT RESET)	P.41

目次

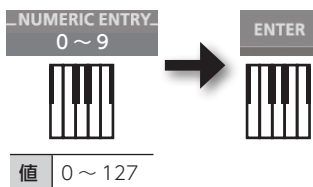
安全上のご注意	3
使用上のご注意	4
使いかた早見表	6
パッケージの内容	9
各部の名称とはたらき	10
パネル	10
リア・パネル	12
ドライバーのインストール	13
音が鳴ることを確認する	19
SONAR プラグインシンセで 確認する (Windows)	19
GarageBand で確認する (Mac OS X)	20
MIDI の流れ	21
動作モードについて	22
動作モードを切り替える	22
PLAY モード	22
FUNCTION モード	23
SuperNATURAL モード	24
MIDI Visual Control モード	25
演奏する	26
MIDI 送信チャンネルを設定する (MIDI CHANNEL)	26
音色を替える	26
鍵盤の音の高さを変える	28
レバーで音に効果を加える	29
D ビームで音に効果を加える	30
つまみで音に効果を加える	31
ペダルで音に効果を加える	32
アフタータッチで音に変化を付ける	33
鳴りやまない音を止める (PANIC)	33

A-49 の設定を変える	34
ベロシティ・カーブを変える (VELO CURVE)	35
押さえた鍵のベロシティ値を設定する (KEY VELO)	36
SuperNATURAL モードでの [C2] つまみの機能を切り替える (SN SETTING)	36
つまみ、ボタン、端子に割り当て る機能を替える	37
プログラム・チェンジ・メッ セージを割り当てる (PRGM CHANGE)	37
アフタータッチを割り当てる	37
コントロール・チェンジ・ナ ンバー (CC#) を割り当てる	38
つまみ、D ビーム・コントロー ラー、ペダルの値の大きくなる向 きを変える (CTRL DIR)	40
使用するドライバーを専用か OS 標準か切り替える	40
工場出荷時の状態に戻す (FACT RESET)	41
故障かな?と思ったら	42
ドライバーをインストールすると きのトラブル	42
本機を使用するときのトラブル	43
トラブルを回避するパソコンの設 定方法	46
ドライバ署名オプションの 設定 (Windows XP)	46
電源管理の設定	46
ドライバーを再インストールする	48
ドライバーを削除する	48
MIDI の負荷を軽くする (Windows)	49
主な仕様	50
MIDI インプリメンテーション・チャー ト	51
索引	52

手順説明のイラストの見かた



NUMERIC ENTRY の押す順番と入力される値の関係



NUMERIC ENTRY の押す順番	入力される値
6、4、ENTER	64
1、2、7、ENTER	127
1、2、8、ENTER	28
9、3、5、7、ENTER	57

※ 範囲外の値を押したときは、ENTER を押す前までの有効な値が反映されます。

アイコンの説明

アイコン	説明
	[C1] [C2] つまみを回す。
	ホールド・ペダルを踏む。
	エクスプレッション・ペダルを踏む。

パッケージの内容

パッケージを開いたら、まずすべての内容物があるかどうか確認してください。
不足している場合は、お買い上げになった販売店までご連絡ください。

☐ A-49



☐ A-Series Keyboard CD-ROM

USB ドライバーや取扱説明書の PDF が収録されています。

☐ Cakewalk SONAR LE DVD-ROM **Windows**

パソコンで再生や録音をするための DAW ソフトウェアです。

SONAR LE の使いかた、ユーザー登録やレジストレーション・コードの取得については、インストール・ガイド (DVD-ROM に添付) やソフトウェアのヘルプをご覧ください。

※ ディスクの裏面 (信号面) に触れたり、傷をつけたりしないでください。データの読み出しがうまくいかないことがあります。ディスクの汚れは、市販のクリーナーでクリーニングしてください。

※ Mac OS X 用 DAW ソフトウェアは別途用意してください。

☐ Cakewalk SONAR LE インストール・ガイド **Windows**

Cakewalk SONAR LE DVD-ROM に収録されている、ソフトウェアのインストール方法やユーザー登録方法などが記載されています。所定の方法でユーザー登録およびレジストレーション・コードを取得しない場合、インストール後 30 日を越えますとお使いになることはできなくなります。

☐ USB ケーブル

パソコンの USB 端子と A-49 をつなげるためのケーブルです。

※ USB ケーブルは付属のものをお使いください。破損や紛失により USB ケーブルが必要な場合は、巻末に記載されている『お問い合わせの窓口』にご相談ください。

☒ 取扱説明書

本書です。常に手元に置いて、いつでも参照できるようにしてください。

☐ 保証書

A-49 本体の保証書です。保証期間内に A-49 の修理を受ける際に必要です。記載事項を確認の上、大切に保管してください。

☐ ローランド ユーザー登録カード

A-49 のユーザーとして登録していただくための登録カードです。ローランド ユーザー登録カードに記載されている登録方法をお読みになり、必ずユーザー登録をしてください。

各部の名称とはたらき

パネル

D ビーム (P.30)

D ビーム・コントローラー

手をかざして、音にいろいろな効果をかけます。

[PITCH] ボタン

オンにすると、D ビーム・コントローラーでピッチをコントロールできます。

[VOL] ボタン

オンにすると、D ビーム・コントローラーでボリュームをコントロールできます。

[ASSIGN] ボタン

オンにすると、D ビーム・コントローラーに割り当てた機能が使えます。(工場出荷時：アフタータッチ)

POWER インジケーター

A-49 とパソコンが USB 接続されると点灯します。

[C1] [C2] つまみ

つまみを回すと、割り当てた機能が使えます (P.31)。

[FUNCTION] ボタン

このボタンを押して点灯させて、鍵盤を押すことで MIDI チャンネルを変更したり、プログラム・チェンジを変更できたりします (P.23)。

[SuperNATURAL] ボタン

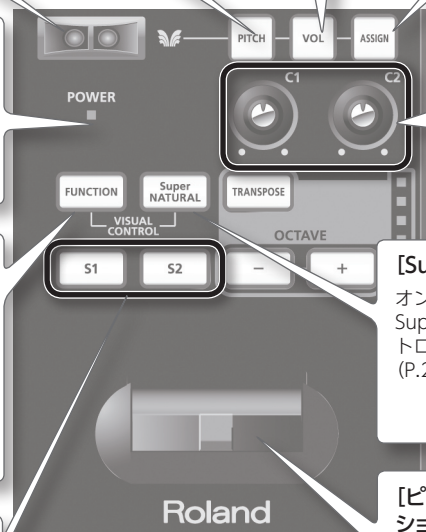
オンにすると、接続した SuperNATURAL 音源をコントロールすることができます (P.24)。

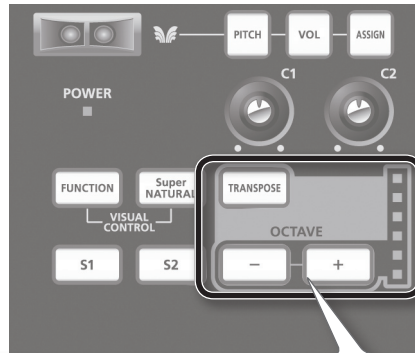
[S1] [S2] ボタン

ボタンを押すと、音源の音色を替えることができます (P.26)。

[ピッチ・ベンド／モジュレーション] レバー

ピッチ (音の高さ) を変化させたり、ビブラートをかけたりします (P.29)。





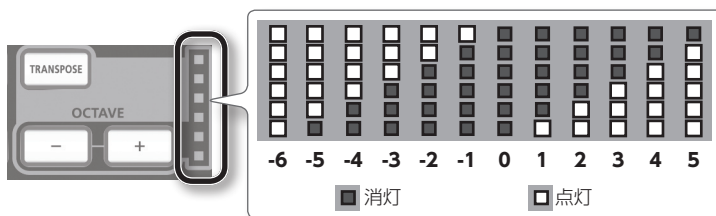
[TRANSPOSE] ボタン、OCTAVE / TRANSPOSE インジケーター、[+] [-] ボタン

PLAY モード (P.22) のとき、[TRANSPOSE] ボタンを押すと、OCTAVE / TRANSPOSE インジケーターと [+] [-] ボタンの機能が切り替わります。

[TRANSPOSE] ボタンがオンのときトランスポーズは有効、オフのときは無効になります。

ボタン	機能	OCTAVE / TRANSPOSE インジケーター
[+] [-] ボタン	オクターブ (P.28) の値を変更	オクターブの値を表示
[TRANSPOSE] + [+] [-] ボタン	トランスポーズ (P.28) の値を変更	トランスポーズの値を表示

OCTAVE / TRANSPOSE インジケーターの表示と値



各部の名称とはたらき

リア・パネル

HOLD 端子

ペダル・スイッチ（別売：DP-2、DP-10）をつないで、ホールド・ペダルとして使います。（P.32）



EXPRESSION 端子

エクスプレッション・ペダル（別売：EV-5、EV-7）をつないで、さまざまなパラメーターや機能をコントロールすることができます（P.32）。

※ エクスプレッション・ペダルは、必ず指定のもの（別売：EV-5、EV-7）をお使いください。他社製品を接続すると、本体の故障の原因になる場合があります。



USB COMPUTER 端子

A-49 とパソコンを USB ケーブルでつなぎます。

※ パソコンにドライバーをインストールしてから、つないでください。（P.13）



MIDI OUT 端子

他の MIDI 機器の MIDI IN 端子とつないで、MIDI メッセージを送信します。



※ 他の機器と接続するときは、誤動作や故障を防ぐため、必ずすべての機器の音量を絞り、すべての機器の電源を切ってください。

ドライバーのインストール

Windows

Mac OS X

ご注意！

指示があるまでは、A-49 をパソコンにつながないでください。

ドライバーとは、パソコンと A-49 が接続されているときに、パソコン上のアプリケーション・ソフトウェアと A-49 との間でデータをやり取りするソフトウェアです。

1. A-49 を接続していない状態でパソコンを起動します。

USB キーボードと USB マウス以外のすべての USB ケーブルをはずしてください。

Windows

パソコンの管理者権限を持ったユーザーでログオンします。

Windows 8

「デスクトップ」に切り替えます。

2. 起動中のソフトウェアをすべて終了します。

3. 付属の CD-ROM を DVD-ROM ドライブに入れます。

4. 付属の CD-ROM 内にある以下のファイルをダブルクリックしてインストーラーを起動します。

ご使用の OS	ファイル
Windows	[WinDriver] フォルダの [Setup]
Mac OS X	[MacDriver] フォルダの [A-SeriesKeyboard_USBDriver]

最新の OS への対応状況、USB ドライバーのダウンロード、最新 USB ドライバーの情報については、ローランド・ホームページをご覧ください。

<http://www.roland.co.jp/support/>

Windows をお使いのかた 14 ページ

Mac OS X をお使いのかた 16 ページ

Windows

5. ユーザー アカウント制御に関する確認画面が表示されたら、[はい] または [続行] をクリックします。
6. 「A-Series Keyboard Driver をコンピュータ上にインストールします。～」と表示されたら、[次へ] をクリックします。
7. もう一度 [次へ] をクリックします。

Windows 8 / Windows 7 / Windows Vista

Windows セキュリティに関するダイアログが表示されたときは、[インストール] をクリックします。

Windows XP

「ソフトウェアのインストール」ダイアログが表示されたときは、[続行] をクリックしてインストールを継続します。

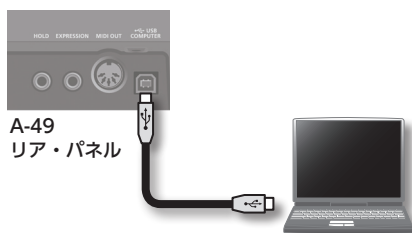
続行できないときは、ダイアログの [OK] をクリックしてインストールを一度終了させます。『ドライバ署名オプションの設定 (Windows XP)』(P.46) に従って設定を変更してから、再度インストールをしてください。

8. 「ドライバをインストールする準備ができました。～」と表示されたら、A-49 とパソコンを USB ケーブルでつなぎます。

※ 周辺機器の音量を絞ってから USB ケーブルを挿してください。

※ 本機は回路保護のため、電源をオンにしてからしばらくは動作しません。

ドライバがインストールされるまでに、数分時間がかかることがあります。



Windows 8 / Windows 7 / Windows Vista

その他のメッセージが表示されたときは、そのメッセージに従ってください。ドライバが自動的にインストールされます。

Windows XP

画面の右下に「新しいハードウェアが見つかりました」と表示されます。

Windows 8 / Windows 7 / Windows Vista

Windows XP

Windows 8 / Windows 7 / Windows Vista

9. 「インストールが完了しました。」と表示されたら、[閉じる] をクリックします。

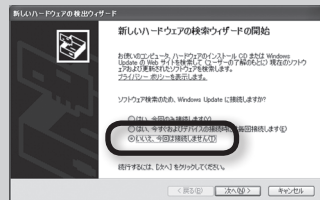
「A-Series Keyboard Driver Setup」ダイアログが閉じられます。

「システム設定の変更」ダイアログが表示されたときは、[はい] をクリックして、Windows を再起動します。

19 ページ

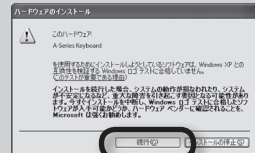
Windows XP

9. Windows Update に接続するかを聞かれたときは、[いいえ、今回は接続しません] を選んで [次へ] をクリックします。



10. [ソフトウェアを自動的にインストールする (推奨)] を選んで、[次へ] をクリックします。

11. 「ハードウェアのインストール」ダイアログが表示されたときは、[続行] をクリックしてインストールを続けます。



12. 「新しいハードウェアの検索ウィザードの完了」と表示されたら、[完了] をクリックします。

13. 「インストールが完了しました。」と表示されたら、[閉じる] をクリックします。

「A-Series Keyboard Driver Setup」ダイアログが閉じられます。

「システム設定の変更」ダイアログが表示されたときは、[はい] をクリックして、Windows を再起動します。

19 ページ

Mac OS X

インストールの途中でパスワードの入力を求めるダイアログが表示されたら、お使いのパソコンの管理者のユーザー名とパスワードを入力し、[ソフトウェアをインストール] ボタンまたは [OK] ボタンをクリックします。

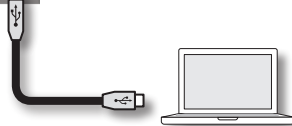
5. 「ようこそ A-Series Keyboard Driver インストーラへ」と表示されたら、[続ける] をクリックします。
6. インストール先を選ぶ画面が表示されたときは、起動ディスクをクリックして選び、[続ける] をクリックします。
7. インストールの種類が表示されたら、[インストール] または [アップグレード] をクリックします。
8. [インストールを続ける] をクリックします。
9. インストールが完了したら、[再起動] をクリックして Mac を再起動します。
再起動に時間がかかることがあります。
10. Mac が起動したら、A-49 と Mac を USB ケーブルで接続します。

※ 周辺機器の音量を絞ってから USB ケーブルを挿してください。

※ 本機は回路保護のため、電源をオンにしてからしばらくは動作しません。



A-49
リア・パネル



11. [アプリケーション]、[ユーティリティ] フォルダーを順に開いて [Audio MIDI 設定] をダブルクリックします。

[Audio MIDI 設定] ダイアログが表示されます。

12. MIDI デバイスの設定ダイアログを表示させます。

OS	操作
Mac OS X v10.6 以降	[ウィンドウ] メニューの [MIDI ウィンドウを表示] を選びます。 ([MIDI スタジオ] ウィンドウが表示されます。)
Mac OS X v10.5 以前	[MIDI 装置] タブをクリックします。

- 13.**「MIDI スタジオ」ウインドウ、または「Audio MIDI 設定」ダイアログに、**[A-Series Keyboard]** が表示されていることを確認します。

[A-Series Keyboard] が表示されていない、または淡色表示されているとき、A-49 が正常に認識されていません。[MIDI を再スキャン] をクリックしてください。また、A-49 の USB ケーブルを差しなおしてください。

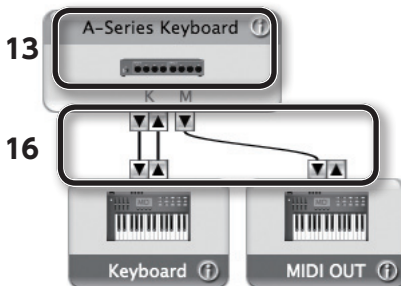
- 14.** [装置を追加] を 2 回クリックします。

[新しい外部装置] が 2 つ表示されます。

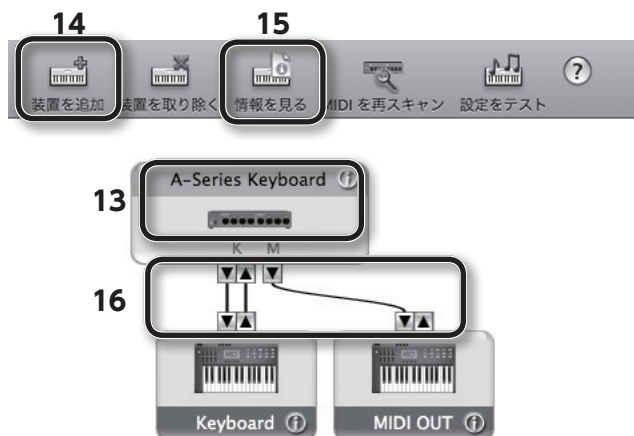
- 15.** 追加した [新しい外部装置] の装置名を設定します。

1. 追加した [新しい外部装置] をクリックして選択し、[情報を見る] をクリックします。
2. [装置名] 欄に名前を入力して、[適用] をクリックします。それぞれの [新しい外部装置] について以下のように入力します。

[新しい外部装置]	装置名
1 番目	Keyboard
2 番目	MIDI OUT



16. [A-Series Keyboard] と追加した [新しい外部装置] のそれぞれの出力と入力を意味する▼と▲をマウスでドラッグして、図のように結びます。



17. 「MIDI スタジオ」ウインドウ、または「Audio MIDI 設定」ダイアログを閉じて、設定を終了します。

音が鳴ることを確認する

ドライバーをインストールしたあとに、ドライバーが正しくインストールできたかを確認します。

ここでは、Windows では SONAR LE を、Mac OS X では GarageBand を使用した例を紹介しています。

SONAR プラグインシンセで確認する (Windows)

ここでは SONAR LE に付属されているプラグインシンセを使用するときの説明をします。他のバージョンでは手順や画面が異なることがあります。

SONAR LE のインストールおよび設定については、付属している SONAR LE インストール・ガイドをご覧ください。

1. SONAR LE を起動します。
2. [編集] メニューから [環境設定] をクリックして、左のメニューから MIDI 欄の [デバイスの選択] をクリックします。

MIDI の「入力 / 出力デバイスの選択」ダイアログが表示されます。

3. [入力] 欄と [出力] 欄で、以下の MIDI デバイスを選びます。

入力デバイス	出力デバイス
A-Series Keyboard	A-Series Keyboard MIDI OUT

入出力デバイスとして A-Series Keyboard を選択できない場合は、何らかの問題が発生している可能性があります。『本機を使用するときのトラブル』(P.43) をご覧ください。

4. [適用]、[閉じる] の順にクリックして、環境設定ダイアログを閉じます。

5. [ファイル] メニューから [新規作成] をクリックします。

「新規プロジェクトの作成」ダイアログが表示されます。

6. 「テンプレート」欄の [Normal] を選んで、「名前」欄にプロジェクトの名前を入力して、[OK] をクリックします。



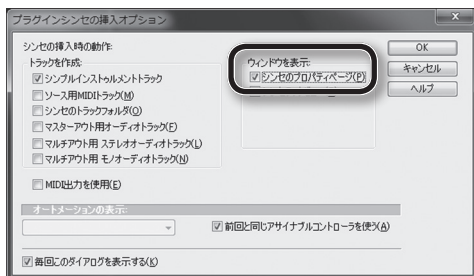
7. [挿入] メニューから [プラグインシンセ]、[Square I] を順に選びます。

ドライバーのインストール

8. 「プラグインシンセの挿入オプション」ダイアログで、「ウィンドウを表示」欄の「シンセのプロパティページ」にチェックを入れ、[OK] をクリックします。

9. A-49 の鍵盤を弾きます。

タスクバーの MIDI モニターが反応し、シンセの音が鳴れば、A-49 とパソコンは正しくつながっています。



これで設定は終わりました。それでは『動作モードについて』(P.22) にすすみましょう！

GarageBand で確認する (Mac OS X)

GarageBand は Apple の iLife に付属されているソフトウェアです。

ここでは GarageBand '11 を使用して説明しています。他のバージョンでは手順や画面が異なることがあります。

1. [アプリケーション] フォルダーの [GarageBand] をダブルクリックします。
2. GarageBand が起動したら、[ファイル] メニューから [新規] をクリックします。
3. 「新規プロジェクト」の作成画面で、名前をつけて [作成] をクリックします。
4. A-49 の鍵盤を弾きます。

GarageBand のトラックに設定されている Grand Piano の音が鳴れば、A-49 とパソコンは正しくつながっています。

これで設定は終わりました。それでは『動作モードについて』(P.22) にすすみましょう！

音が鳴らないとき

- ・ [GarageBand] メニューの [環境設定] をクリックします。
[オーディオ / MIDI] タブの [MIDI のステータス] に MIDI 入力が見つからない場合は、何らかの問題が発生している可能性があります。『本機を使用するときのトラブル』(P.43) をご覧ください。
- ・ [システム環境設定] の [サウンド] の [出力] タブを選びます。パソコンの音量が絞ってあったり、ミュート (消音) になっていないか確認します。また、内蔵オーディオが選ばれているか確認します。
- ・ ヘッドホンを使っている場合、パソコンのヘッドホン端子に正しくつながっているか確認します。

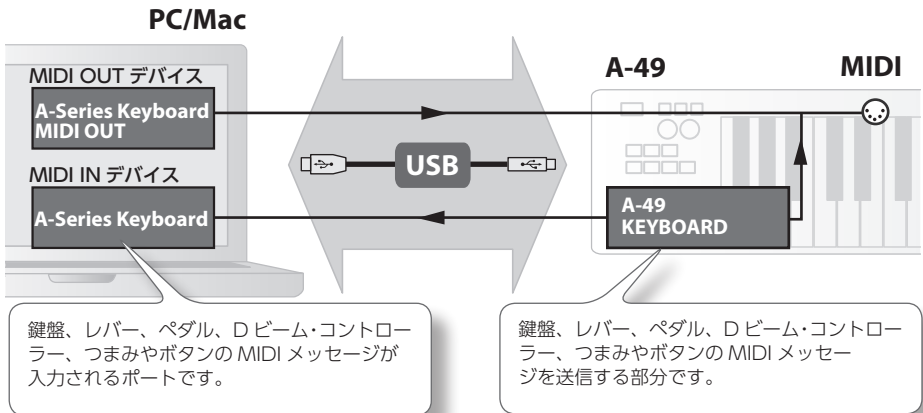
また、GarageBand 以外のソフトウェアで音が鳴らない場合は、MIDI とオーディオの入出力の設定が必要になります。

MIDI の入出力に関しては、以下の設定が必要です。

入力デバイス	出力デバイス
A-Series Keyboard	A-Series Keyboard MIDI OUT

MIDI の流れ

MIDI 信号は以下のように流れます。



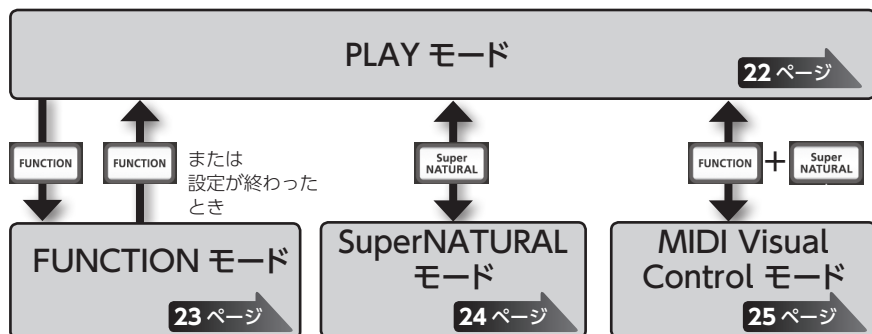
動作モードについて

動作モードを切り替える

A-49 は 4 つのモードがあります。

電源が入ると自動的に PLAY モードで起動します。

動作モードは以下のボタンを押すことで、切り替えることができます。



PLAY モード

PLAY モードとは

演奏用のモードです。鍵盤を弾くと、MIDI 機器を鳴らすようノート・メッセージが送信されます。

PLAY モードでは鍵盤を弾いて接続している音源を鳴らす以外に、[ピッチ・ベンド／モジュレーション] レバーを使用して発音中の音のピッチを変化させる（ピッチ・ベンド）、ビブラート効果を加える（モジュレーション）、オクターブを切り替える（オクターブ・シフト）などの機能を使用することができます。

PLAY モードの機能

演奏する	鍵盤、[ピッチ・ベンド／モジュレーション] レバー、[C1] [C2] つまみ、[S1] [S2] ボタン、D ビーム・コントローラー、ホールド・ペダル、エクスプレッション・ペダルを操作して、MIDI メッセージを送信します。	P.26
------	---	------

FUNCTION モード

FUNCTION モードとは

特定のコントロール・メッセージを送信したり、本体を設定したりするモードです。FUNCTION モードでは、設定したい機能を鍵盤で選びます（鍵盤を弾いても演奏できません）。

FUNCTION モードの機能

MIDI 送信チャンネルを設定する	鍵盤、[ピッチ・ベンド/モジュレーション] レバー、[C1] [C2] つまみ、[S1] [S2] ボタン、D ビーム・コントローラー、ホールド・ペダル、エクスプレッション・ペダルの送信チャンネルを設定します。	P.26
プログラム・チェンジ・メッセージを送信する	プログラム・チェンジ・メッセージを送信します。	P.28
バンク・セレクト LSB を送信する	バンクを切り替えます。 バンク・セレクト LSB (CC#32) を送信します。	P.27
バンク・セレクト MSB を送信する	バンクを切り替えます。 バンク・セレクト MSB (CC#00) を送信します。	P.27
アフタータッチ・メッセージを送信する	アフタータッチ・メッセージを送信します。	P.33
リセット・メッセージを送信する	操作中に、接続した MIDI 音源の音が鳴りやまない、音がおかしいなどの症状がある場合に、リセット・メッセージ（オール・サウンド・オフ、オール・ノート・オフ、リセット・オール・コントローラー）を送って症状を回復します。	P.33
鍵盤の設定を変える	ペロシティーの感度や、鍵盤を弾いたときに出力されるペロシティー値を調整します。	P.35 P.36
つまみ、ボタン、ペダルに割り当てている機能を替える	[C1] [C2] つまみ、[S1] [S2] ボタン、[ASSIGN] ボタン、HOLD 端子、EXPRESSION 端子に割り当てている機能 (CC#) を替えます。	P.37
つまみ、D ビーム・コントローラー、ボタン、ペダルの値の大きくなる向きを変える	[C1] [C2] つまみ、D ビーム・コントローラー、[S1] [S2] ボタン、HOLD 端子、EXPRESSION 端子の値の大きくなる向きを替えます。	P.40
SuperNATURAL モードのとき [C2] つまみの機能を切り替える	SuperNATURAL モードのとき、[C2] つまみの機能を切り替えます。	P.36
使用するドライバーを切り替える	使用するドライバーを専用か OS 標準か切り替えます。	P.40
工場出荷時の設定に戻す	A-49 の設定をすべて工場出荷時の状態に戻します。	P.41

SuperNATURAL モード

SuperNATURAL モードとは

SuperNATURAL 音源をコントロールするモードです。

A-49 から MIDI ケーブルでつないだ SuperNATURAL 音源をコントロールできます。

SuperNATURAL とは

SuperNATURAL

Behavior Modeling Technology により、従来の音源では難易度の高かった「自然で豊かな表現」を可能にしたローランド独自の音色群です。

Behavior Modeling Technology とは

楽器そのもののモデリングに加え、奏法における各楽器独特の振る舞いをもモデリングすることにより、リアルタイムに自然で豊かな表現を可能にする音源技術です。

SuperNATURAL モードの機能

ボタン、つまみなど	機能
[PITCH] ボタン	PLAY モードと同じ機能です。
[VOL] ボタン	
[ASSIGN] ボタン	汎用操作子 3 (CC#18)
[FUNCTION] ボタン	使用しません。
[S1] ボタン	汎用操作子 5 (CC#80)
[S2] ボタン	汎用操作子 6 (CC#81)
[C1] つまみ	汎用操作子 1 (CC#16)
[C2] つまみ	汎用操作子 2 (CC#17) SN SETTING (P.36) の設定によって、汎用操作子 4 (CC#19) になります。
[ピッチ・ベンド/モジュレーション] レバー	PLAY モードと同じ機能です。
[TRANPOSE] ボタン	
[+] [-] ボタン	
HOLD 端子	PLAY モードで使用している機能を使うことができます。
EXPRESSION 端子	

※ かかる効果は、音源によって異なります。詳しくは、お使いの音源の取扱説明書をご覧ください。

MIDI Visual Control モード

MIDI Visual Control モードとは

MIDI Visual Control (MVC) 対応の映像機器をコントロールするモードです。A-49 から MIDI ケーブルでつないだ Visual Control 機器の映像をコントロールできます。MIDI Visual Control モードにして、A-49 の鍵盤を弾くと、演奏に合わせて映像をコントロールできます。

MIDI Visual Control とは



MIDI Visual Control は、音楽演奏と映像表現を結びつけるために、MIDI 規格に追加された世界共通の推奨仕様です。MIDI Visual Control 対応の映像機器と電子楽器を MIDI で接続することにより、演奏に合わせて映像をコントロールすることができます。

MIDI Visual Control モードの機能

ボタン、つまみなど	機能
[PITCH] ボタン	PLAY モードと同じ機能です。
[VOL] ボタン	
[ASSIGN] ボタン	アタック・タイム (CC#73)
[FUNCTION] ボタン	使用しません。
[S1] ボタン	PLAY モードで使用している機能を使うことができます。
[S2] ボタン	
[C1] つまみ	カットオフ (CC#74)
[C2] つまみ	レゾナンス (CC#71)
[ピッチ・ベンド/モジュレーション] レバー	PLAY モードと同じ機能です。
[TRANSCOPE] ボタン	
[+] [-] ボタン	PLAY モードで使用している機能を使うことができます。
HOLD 端子	
EXPRESSION 端子	

※ かかる効果は、映像機器によって異なります。詳しくは、お使いの映像機器の取扱説明書をご覧ください。

演奏する

A-49 は電源が入ると自動的に PLAY モードで起動します (P.22)。

PLAY モードでは、鍵盤を弾くと MIDI 機器を鳴らすようにノート・メッセージが送信されます。

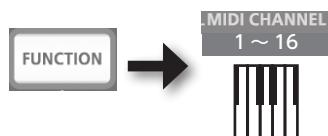
1. A-49 の MIDI 送信チャンネルと、MIDI 機器 (ソフトウェア) 側の MIDI 受信チャンネルを合わせます (P.26)。
2. 音色を選びます (P.26)。
3. 鍵盤を弾きます。

鍵盤を弾くと、MIDI メッセージが送信されます。

※ A-49 には音源は内蔵されていないため、A-49 単体で MIDI 演奏はできません。

MIDI 送信チャンネルを設定する (MIDI CHANNEL)

MIDI 音源から音を出力するためには、A-49 の MIDI 送信チャンネルと、MIDI 音源の MIDI 受信チャンネルを合わせる必要があります。



メモ

- 外部 MIDI 機器が受信するチャンネルの設定のしかたは、それぞれの取扱説明書をご覧ください。
- 電源を切ると、設定は初期値 (MIDI CHANNEL 1) に戻ります。

音色を替える

MIDI 音源の音色を替えるには、プログラム・チェンジを送信します。

[S1] [S2] ボタンを押すとプログラム・チェンジを送信でき、音色を切り替えることができます。



ボタン	機能
[S1] ボタン	プログラム・チェンジ・ナンバーを 1 つ小さくする
[S2] ボタン	プログラム・チェンジ・ナンバーを 1 つ大きくする

※ プログラム・チェンジ・ナンバーの範囲は 1 ~ 128 です。

メモ

[S1] [S2] ボタンに割り当てている機能を変えることができます。詳しくは『つまみ、ボタン、端子に割り当てる機能を替える』(P.37)をご覧ください。

違うバンクの音色を選ぶには、まずバンク・セレクトを送信して、プログラム・チェンジを送信します。

※ バンク・セレクトを送信だけでは音色は変わりません。

※ バンク・セレクトは、プログラム・チェンジよりも先に送信する必要があります。

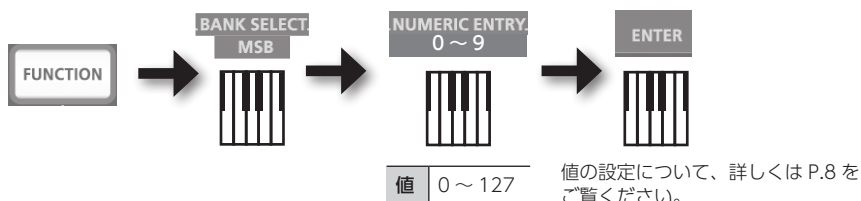
バンクとは

MIDI 音源では、たくさんある音色をバリエーション別にいくつかのグループに分けています。このグループをバンクと呼びます。

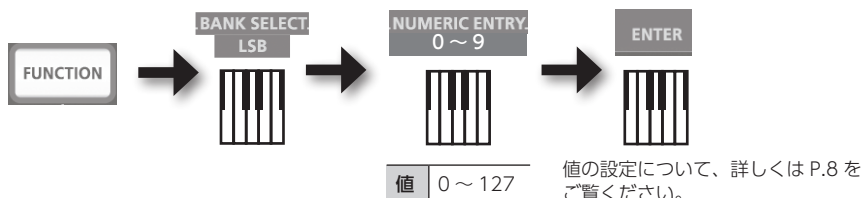
プログラム・チェンジでは同じバンク内の音色しか選べませんが、これにバンク・セレクトを組み合わせることで、バリエーションの違う音色が選べるようになっていきます。

※ 音色の並び方は、音源によって異なります。詳しくは、お使いの音源の取扱説明書をご覧ください。

バンク・セレクト MSB を送信する (BANK SELECT MSB)

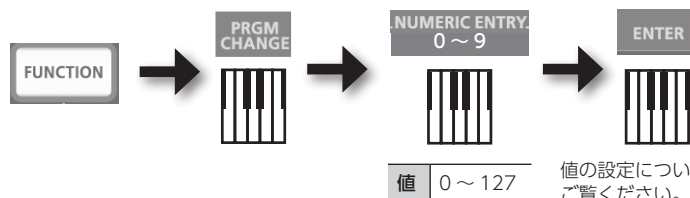


バンク・セレクト LSB を送信する (BANK SELECT LSB)



演奏する

プログラム・チェンジ・ナンバーを送信する (PRGM CHANGE)



値の設定について、詳しくは P.8 をご覧ください。

鍵盤の音の高さを変える

オクターブを切り替える (オクターブ・シフト)

[+] [-] ボタンを押して鍵盤の発音域を上げたり下げたりできます (オクターブ・シフト)。-4 ~ 5 オクターブの範囲で値を設定できます。

現在のオクターブ・シフトの状態によって、OCTAVE / TRANSPOSE インジケーターが点灯します (P.11)。

[+] ボタンと [-] ボタンを同時に押すと、0 にリセットされます。

音の高さを変える (トランスポーズ)

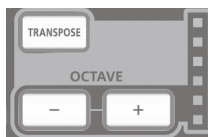
[TRANSPOSE] ボタンを押しながら [+] [-] ボタンを押すと、半音単位で移調することができます (トランスポーズ)。

-6 ~ 5 の範囲で値を設定できます。

現在のトランスポーズの状態によって、OCTAVE / TRANSPOSE インジケーターが点灯します (P.11)。

[TRANSPOSE] ボタンがオンのときトランスポーズは有効、オフのときは無効になります。

[TRANSPOSE] ボタンを押しながら [+] ボタンと [-] ボタンを同時に押すと、0 にリセットされます。



レバーで音に効果を加える

発音中の音のピッチを変化させる（ピッチ・ベンド）

【ピッチ・ベンド／モジュレーション】レバーを左右に動かすと、ピッチ・ベンド情報が送信され、発音中の音のピッチに微妙な変化を加えます。

※ ピッチの変化の範囲（ベンド・レンジ）は、音源で設定します。

発音中の音に変化を与える（モジュレーション）

【ピッチ・ベンド／モジュレーション】レバーを向こう側に倒すとモジュレーション情報（CC#01）が送信され、音にビブラート効果を加えます。

※ 得られる音色変化は音源側の設定によります。

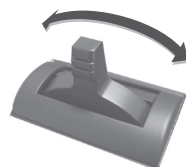
メモ

鍵盤を弾きながらレバーを左に倒すとピッチが下がり、右に倒すとピッチが上がります。これをピッチ・ベンド効果といいます。

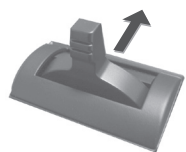
また、レバーを向こう側に倒すとビブラートがかかります。これをモジュレーション効果といいます。

レバーを左または右に倒しながら向こう側に倒したときは、両方の効果が同時に得られます。

※ ピッチの変化の範囲（ベンド・レンジ）は、音源側で設定します。



ピッチ・ベンド効果



モジュレーション効果

D ビームで音に効果を加える

D ビーム・コントローラーは、手をかざすだけで使えるコントローラーです。割り当てる機能を変えて、音にいろいろな効果を加えることができます。



1. D ビーム [PITCH]、[VOL]、[ASSIGN] ボタンのいずれかを押して、D ビーム・コントローラーをオンにします（ボタン点灯）。

ボタン	機能
[PITCH] ボタン	D ビーム・コントローラーにかざした手の動きに従って、ピッチ（音の高さ）が変わります。
[VOL] ボタン	音量が変わり、演奏に抑揚を付けられます。
[ASSIGN] ボタン	割り当てた機能を使います。工場出荷時：アフタータッチ（P.33）

※ かかる効果は、音源によって異なります。詳しくは、お使いの音源の取扱説明書をご覧ください。

メモ

[ASSIGN] ボタンに割り当てている機能を変えることができます。詳しくは『つまみ、ボタン、端子に割り当てる機能を替える』（P.37）をご覧ください。

2. 鍵盤を弾いて音を出しながら、D ビーム・コントローラーに手をかざし、ゆっくりと上下させます。
3. D ビーム・コントローラーをオフにするときは、手順 1 で押したボタンをもう一度押します（ボタン消灯）。

D ビーム・コントローラーの有効範囲

D ビーム・コントローラーの有効範囲は図のようになっています。有効範囲から外れた位置に手をかざしても効果は得られません。

ご注意！

D ビーム・コントローラーは周辺の明るさによって感度が変化します。



つまみで音に効果を加える

〔C1〕〔C2〕 つまみを回すと音を変えることができます。



つまみ	機能
〔C1〕 つまみ	カットオフ (CC#74) が送信されます。
〔C2〕 つまみ	レゾナンス (CC#71) が送信されます。

※ かかる効果は、音源によって異なります。詳しくは、お使いの音源の取扱説明書をご覧ください。

メモ

〔C1〕〔C2〕 つまみに割り当てている機能を変えることができます。詳しくは『つまみ、ボタン、端子に割り当てる機能を替える』(P.37) をご覧ください。

ペダルで音に効果を加える

A-49 はペダル・スイッチ（別売：DP-2、DP-10）とエクスプレッション・ペダル（別売：EV-5、EV-7）に対応しています。

端子	機能	対応ペダル
HOLD 端子	ホールド (CC#64)	ペダル・スイッチ
EXPRESSION 端子	エクスプレッション (CC#11)	エクスプレッション・ペダル

※ かかる効果は、音源によって異なります。詳しくは、お使いの音源の取扱説明書をご覧ください。

メモ

HOLD 端子と EXPRESSION 端子に割り当てている機能を変えることができます。詳しくは『つまみ、ボタン、端子に割り当てる機能を替える』(P.37) をご覧ください。

音を持続させる（ホールド）

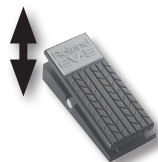
鍵盤を弾きながら、ペダル・スイッチを踏みます。
ペダル・スイッチを踏むことにより、音を持続（ホールド）させることができます。



演奏に抑揚を付ける（エクスプレッション）

鍵盤を弾きながら、エクスプレッション・ペダルを上下します。
音量を変化させることで、演奏に抑揚が付けられます。

※ エクスプレッション・ペダルは、必ず指定のもの（別売：EV-5、EV-7）をお使いください。他社製品を接続すると、本体の故障の原因になる場合があります。

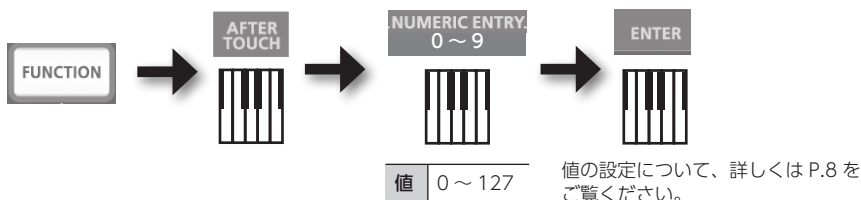


アフタータッチで音に変化を付ける

アフタータッチとは、鍵盤を押したあとにさらに強く押し込むことで音に変化が付く機能のことです。

A-49 では、鍵盤をさらに強く押し込んでアフタータッチを送信するのではなく、[ASSIGN] ボタンをオンにして D ビーム・コントローラーに手をかざすことでアフタータッチを送信します。

D ビーム以外にも、鍵盤から直接値を入力することができます。



※ アフタータッチの値を 0 以外にすると、音に変化が付いたままになります。不要なときは 0 に戻してください。

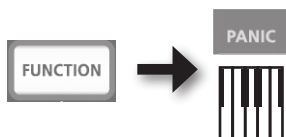
メモ

- A-49 では、アフタータッチはチャンネル・プレッシャーのみに対応して、ポリフォニック・キー・プレッシャーに対応していません。
- [C1] [C2] つまみや EXPRESSION 端子などにアフタータッチを割り当てることができます。詳しくは『つまみ、ボタン、端子に割り当てる機能を替える』(P.37) をご覧ください。

鳴りやまない音を止める (PANIC)

操作中に接続した MIDI 音源の音が鳴りやまない、音がおかしいなどの症状がある場合 (PANIC) には、リセット・メッセージを送信して症状を回避します。

リセット・メッセージ送信の操作では、オール・サウンド・オフ、オール・ノート・オフ、リセット・オール・コントローラーが全チャンネルに送信されます。

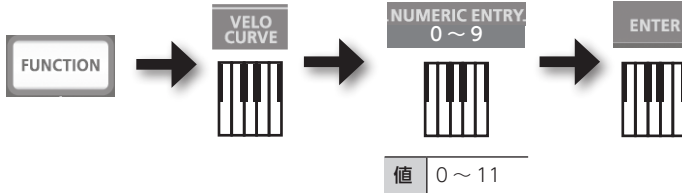


A-49 の設定を変える

FUNCTION モードで A-49 の設定を切り替えます。

パラメーター	工場出荷時	説明	ページ
VELO CURVE	1-MEDIUM	A-49 は鍵盤を弾くと、弾いた強さを検出してペロシティー値（音量）を送信します。 VELO CURVE では、鍵盤の感度と、ペロシティー値を変化させるときの変化のカーブを設定します。	P.35
KEY VELO	TOUCH	押さえた鍵のペロシティー値を設定します。	P.36
SN SETTING	MODE 0	SuperNATURAL モードでの【C2】つまみの機能を切り替えます。	P.36
【C1】 つまみ	カットオフ (CC#74)	つまみ、ボタン、端子に割り当てる機能を替えます。	P.37
【C2】 つまみ	レゾナンス (CC#71)		
【ASSIGN】 ボタン	アフタータッチ		
【S1】 ボタン	音色を替える (プログラム・チェンジ・ナンバーを小さくする)		
【S2】 ボタン	音色を替える (プログラム・チェンジ・ナンバーを大きくする)		
HOLD 端子	ホールド (CC#64)		
EXPRESSION 端子	エクスプレッション (CC#11)		
CTRL DIR	正方向	つまみを右に回すと大きな値を送信するか、小さな値を送信するかを替えることができます。 また、D ピーム・コントローラー、ボタン、ペダルについても同様に替えることができます。	P.40
ADV	ADVANCED	『ドライバーのインストール』(P.13) で紹介した専用ドライバー (ADVANCED) を使用するか、OS が提供する標準ドライバー (GENERIC) を使用するか切り替えます。	P.40
FACT RESET	—	A-49 の設定をすべて工場出荷時の状態に戻します。	P.41

ベロシティー・カーブを変える (VELO CURVE)



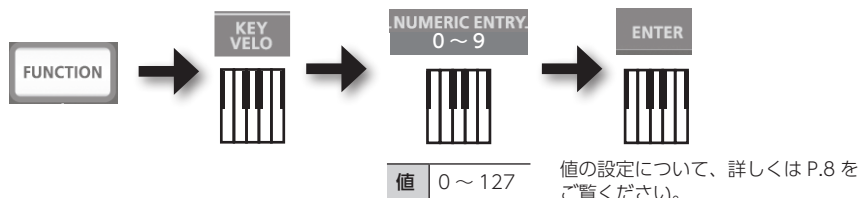
値の設定について、詳しくは P.8 をご覧ください。

※ 範囲外の値 (12 ~) を押したときは、入力されません。

値	設定	鍵盤の感度	カーブの種類
0	1-LIGHT	鍵盤を弱く弾いても大きなベロシティー値 (音量) になります。	もっとも標準的な設定です。鍵盤を弾く強さと音量の変化がもっとも自然になります。 
1	1-MEDIUM (初期値)	鍵盤の感度が標準に設定されています。	
2	1-HEAVY	鍵盤を強く弾かないと大きなベロシティー値 (音量) になりません。	
3	2-LIGHT	鍵盤を弱く弾いても大きなベロシティー値 (音量) になります。	1 のカーブに比べ、弱めに鍵盤を弾くときの音量の変化が大きくなります。 
4	2-MEDIUM	鍵盤の感度が標準に設定されています。	
5	2-HEAVY	鍵盤を強く弾かないと大きなベロシティー値 (音量) になりません。	
6	3-LIGHT	鍵盤を弱く弾いても大きなベロシティー値 (音量) になります。	鍵盤を弾く強さによる変化が少なく演奏しやすい音量が保てます。 
7	3-MEDIUM	鍵盤の感度が標準に設定されています。	
8	3-HEAVY	鍵盤を強く弾かないと大きなベロシティー値 (音量) になりません。	
9	4-LIGHT	鍵盤を弱く弾いても大きなベロシティー値 (音量) になります。	1 のカーブに比べ、強めに鍵盤を弾くときの音量の変化が大きくなります。 
10	4-MEDIUM	鍵盤の感度が標準に設定されています。	
11	4-HEAVY	鍵盤を強く弾かないと大きなベロシティー値 (音量) になりません。	

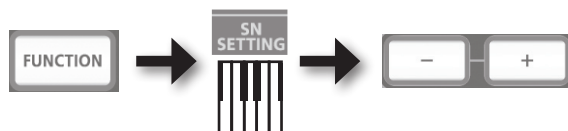
A-49 の設定を変える

押さえた鍵のベロシティー値を設定する (KEY VELO)



値	設定	説明
0	TOUCH (初期値)	『ベロシティー・カーブを変える (VELO CURVE)』(P.35) で設定した鍵盤の感度と変化のしかた (カーブ) に応じたベロシティー値を送信します。
1 ~ 127	固定値	鍵盤をどのような強さで弾いても、設定した値のベロシティー値が送信されます。

SuperNATURAL モードでの [C2] つまみの機能を切り替える (SN SETTING)



ボタン	設定	説明
[+] ボタン	MODE 1	[C2] つまみに汎用操作子 4 (CC#19) が割り当てられます。
[-] ボタン	MODE 0 (初期値)	[C2] つまみに汎用操作子 2 (CC#17) が割り当てられます。

※ かかる効果は、音源によって異なります。詳しくは、お使いの音源の取扱説明書をご覧ください。

つまみ、ボタン、端子に割り当てる機能を替える

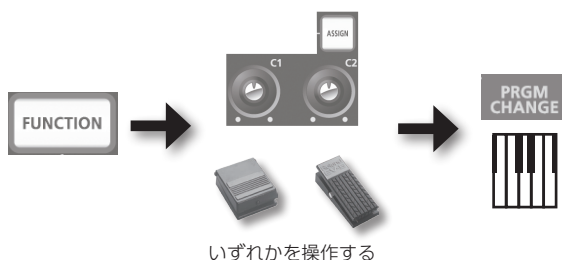
プログラム・チェンジ・メッセージを割り当てる (PRGM CHANGE)

[S1] [S2] ボタンの場合

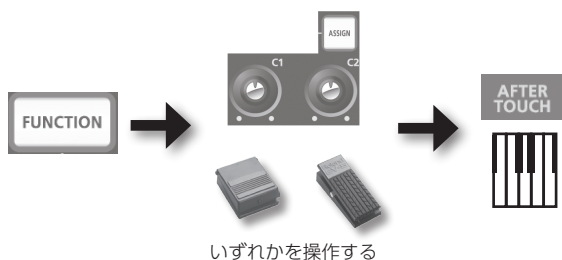


ボタン	機能
[S1] ボタン	プログラム・チェンジ・ナンバーを 1 つ小さくする
[S2] ボタン	プログラム・チェンジ・ナンバーを 1 つ大きくする

その他の操作子の場合



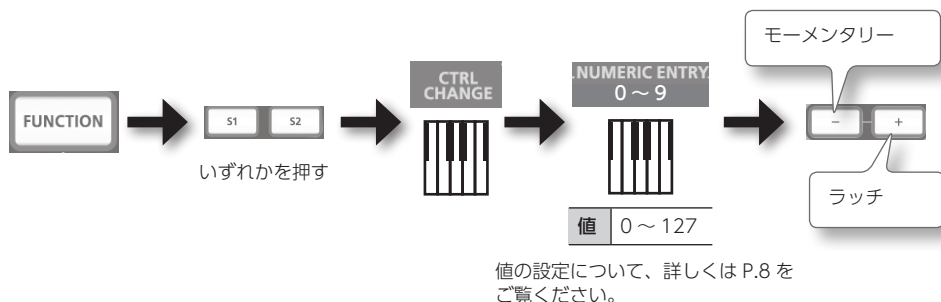
アフタータッチを割り当てる



A-49 の設定を変える

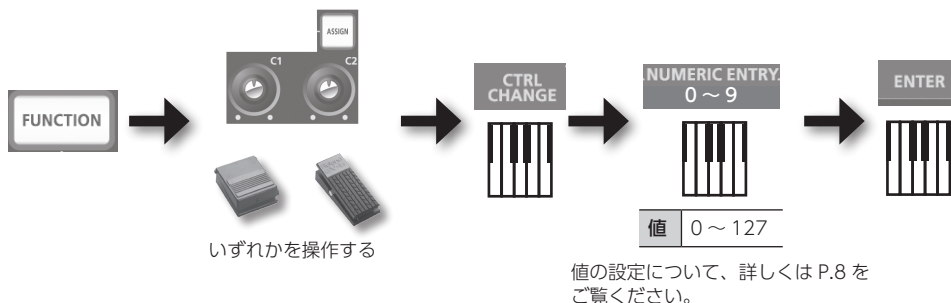
コントロール・チェンジ・ナンバー (CC#) を割り当てる

[S1] [S2] ボタンの場合



ボタン	[S1] [S2] ボタン
[+] ボタン	押すたびに ON (127) と OFF (0) を交互に送信 (ラッチ)
[-] ボタン	押すと ON (127)、離すと OFF (0) を送信 (モーメンタリー)

その他の操作子の場合



※ CC#0 (バンク・セレクト MSB) と CC#32 (バンク・セレクト LSB) を割り当てることはできません。

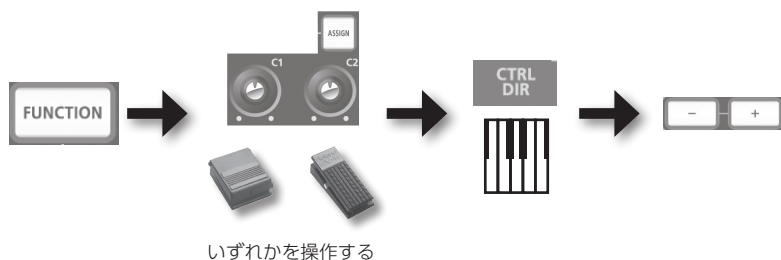
よく使用される CC#

CC#	機能	工場出荷時の割り当て
1	モジュレーション	[ピッチ・ベンド/モジュレーション] レバーのモジュレーション
5	ポルタメント・タイム	—
7	ボリューム	[VOL] ボタン
10	パンポット	—
11	エクスプレッション	EXPRESSION 端子
64	ホールド	HOLD 端子
65	ポルタメント	—
66	ソステヌート	—
67	ソフト・ペダル	—
71	レゾナンス	[C2] つまみ
72	リリース・タイム	—
73	アタック・タイム	—
74	カットオフ	[C1] つまみ
75	ディケイ・タイム	—
76	ビブラート・レート	—
77	ビブラート・デプス	—
78	ビブラート・ディケイ	—
84	ポルタメント・コントロール	—
91	エフェクト 1 (リバーブ・センド・レベル)	—
93	エフェクト 3 (コーラス・センド・レベル)	—

※ かかる効果は、音源によって異なります。詳しくは、お使いの音源の取扱説明書をご覧ください。

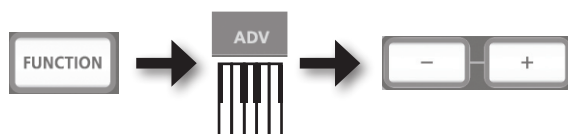
A-49 の設定を変える

つまみ、D ビーム・コントローラー、ペダルの値の大きくなる向きを変える (CTRL DIR)



ボタン	設定	説明
[+] ボタン	正方向 (初期値)	つまみを右に回すと、値は大きくなります。 D ビーム・コントローラーの低い位置で手をかざすと値は大きくなり、高い位置で手をかざすと値は小さくなります。 ペダルを踏むと、値は大きくなります。
[-] ボタン	逆方向	逆になります。

使用するドライバーを専用か OS 標準か切り替える

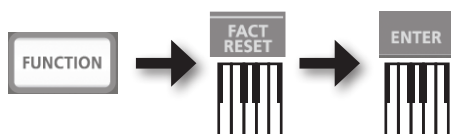


通常は ADVANCED でお使いください。

ボタン	設定	説明
[+] ボタン	ADVANCED (初期値)	『ドライバーのインストール』(P.13)で紹介した専用ドライバーを使用します。
[-] ボタン	GENERIC	OS が提供する標準ドライバーを使用します。手元に専用ドライバーがない場合など、専用ドライバーをインストールできないときに便利です。

※ 変更して USB ケーブルをつなぎなおすと、設定が反映されます。

工場出荷時の状態に戻す (FACT RESET)



故障かな?と思ったら

トラブルが発生したら、まずこの章を読みましょう。トラブルを解決するためのヒントが書かれています。この章の内容を確認しても解決しないときは、弊社ホームページのサポートへアクセスしてみてください。それでも解決しないときには、巻末の『お問い合わせの窓口』にお問い合わせください。

ローランド・ホームページのサポート <http://www.roland.co.jp/support/>

ドライバーをインストールするときのトラブル

トラブル	確認事項	対処
インストーラーが起動できない	ネットワークの DVD-ROM ドライブからインストールしていませんか？	パソコンに直接つないだ DVD-ROM ドライブからインストールしてください。
インストールできない	パソコンの管理者権限を持っていないユーザーでログオンしていませんか？	パソコンの管理者権限を持ったユーザーでログオンしてください。 詳しくは、お使いのパソコンのシステム管理者にご相談ください。
	Windows XP 「ドライバ署名オプション」の設定を[ブロック]にしていますか？	「ドライバ署名オプション」の設定を変更してください (P.46)。
	他のソフトウェアや常駐ソフトウェア (ウィルスチェックなど) が起動していませんか？	必ずインストールの前に他のソフトウェアを終了させてください。
Windows インストールの途中で警告やエラーが表示される	「デバイス マネージャ」の中に「その他のデバイス」「不明なデバイス」「?!/×がついたデバイス」はありませんか？	ドライバーをインストールしなおしてください (P.48)。
インストールが完了しない	パソコンがバッテリーで動作していませんか？	パソコンに電源コードを接続してお使いください。
	マウス、キーボード以外の USB 機器が接続されていませんか？	マウス、キーボード以外の USB 機器をパソコンからはずした状態で、インストールしてください。
	本機をバスパワー USB ハブ (AC アダプターに接続しない USB ハブ) に接続していませんか？	セルフパワー USB ハブ (AC アダプターに接続する USB ハブ) に接続してください。
Windows XP ドライバーをインストールしたあと「新しいハードウェアの検出ウィザード」が表示される	ドライバーをインストールしたときと違う USB 端子に本機を接続していませんか？	本機を接続する USB 端子を変更すると、すでにドライバーをインストールしたパソコンでも再度「新しいハードウェアの検出ウィザード」が表示されることがあります。 ドライバーのインストール手順 9 (P.15) に従ってドライバーをインストールしてください。

トラブル	確認事項	対処
Windows 8 / Windows 7 / Windows Vista デバイス名の先頭に「2-」などの数字が表示される	ドライバーをインストールしたときと違う USB 端子に本機を接続していませんか？	ドライバーをインストールしたときと違う USB 端子に本機を接続すると、デバイス名に数字が表示されます。 数字の付いていないデバイス名に戻すには、本機をインストールしたときと同じ USB 端子へ接続するか、ドライバーをインストールしなおしてください (P.48)。

本機を使用するときのトラブル

トラブル	確認事項	対処
本機のデバイスを選べない／使用できない	ドライバーをインストールしていますか？	ドライバーをインストールしてください (P.13)。
	POWER インジケーターが消灯していませんか？	本機がパソコンに正しく接続されているか確認してください。 それでも解決しないときは、ドライバーをインストールしなおしてください (P.48)。
	本機のデバイス名は表示されていますか？	本機を使用しているソフトウェアをすべて終了し、本機の USB ケーブルをつなぎなおしてください。
	他のソフトウェアで本機を使用していませんか？	それでも解決しないときは、ドライバーをインストールしなおしてください (P.48)。
	本機が接続されているときに、パソコンがスタンバイ（サスペンド）状態や休止状態、スリープ状態になりませんでしたか？	本機を使用しているソフトウェアをすべて終了し、本機の USB ケーブルをつなぎなおしてください。
	本機を使用中に USB ケーブルを抜き差ししませんでしたか？	それでも解決しないときは、パソコンを再起動してください。
	パソコンの起動時に本機を接続していませんか？	パソコンを起動してから、本機を接続してください。 一部のパソコンで、パソコンの起動時に本機が接続されていると本機を使用できないことがあります。
	Windows 8 / Windows 7 / Windows Vista Windows 付属の Media Player をお使いですか？	別途ソフトウェアをご用意ください。 Media Player で MIDI デバイスを選ぶことはできません。
	Mac OS X 「Audio MIDI 設定」を設定していますか？	Audio MIDI 設定をしてください (P.16)。
	ドライバーの設定を OS 標準（GENERIC）に設定していませんか？	専用（ADVANCED）に設定してください (P.40)。

故障かな?と思ったら

トラブル	確認事項	対処
音が出ない	POWER インジケーターは消灯していませんか？	本機がパソコンに正しく接続されているか確認してください。
	ペダルやD ビーム・コントローラーを操作したことで音量が下がっていませんか？	ペダルを踏み込んだり、D ビーム・コントローラーに手をかざしたりしてみてください。
再生や録音ができない	ドライバーをインストールしていますか？	ドライバーをインストールしてください (P.13)。
	ソフトウェアの入出力デバイスを設定していますか？	入出力デバイスに A-49 を選んでください (P.19)。
	本機の POWER インジケーターが消灯していませんか？	本機がパソコンに正しく接続されているか確認してください。 それでも解決しないときは、ドライバーをインストールしなおしてください (P.48)。
	MIDI ケーブルに接続した音源が MIDI 信号を受信していますか？	音源の設定を確認してください。
	他のソフトウェアで本機を使用していますか？	本機を使用しているソフトウェアをすべて終了し、本機の USB ケーブルをつなぎなおしてください。 それでも解決しないときは、ドライバーをインストールしなおしてください (P.48)。
	本機が接続されているときにパソコンがスタンバイ（サスペンド）状態や休止状態、スリープ状態になりませんでしたか？	本機を使用しているソフトウェアをすべて終了し、本機の USB ケーブルをつなぎなおしてください。
	本機を使用中に USB ケーブルを抜き差ししませんでしたか？	それでも解決しないときは、パソコンを再起動してください。
	パソコンの起動時に本機を接続していませんか？	パソコンを起動してから、本機を接続してください。 一部のパソコンで、パソコンの起動時に本機が接続されていると本機を使用できないことがあります。
	本機を使用中に負荷が重い処理をしませんでしたか？	再生や録音を停止してから、再び再生や録音をしてください。 それでも解決しないときは、本機を使用しているソフトウェアをすべて終了し、本機の USB ケーブルをつなぎなおしてください。
Windows 8 / Windows 7 / Windows Vista Windows 付属の Media Player をお使いですか？		別途ソフトウェアをご用意ください。 Media Player で MIDI デバイスを選ぶことはできません。

トラブル	確認事項	対処
2度鳴りする	音源がローカル・オンに設定されていませんか？ ソフトウェアのスルー機能がオンに設定されていませんか？	以下のように設定してください。 音源：ローカル・オフ ソフトウェア：スルー機能をオフ 設定方法についてはお使いの機器の取扱説明書をご覧ください。
再生中に音が途切れる、一部の音が抜ける	複数のソフトウェアを起動していませんか？	使用していないソフトウェアを終了してください。
	Windows Windows Update、Microsoft Update をしていますか？	Windows Update あるいは Microsoft Update を実行し、システムを最新の状態にしてください。
	Mac OS X Mac OS X のソフトウェア・アップデートをしていますか？	ソフトウェア・アップデートを実行し、システムを最新の状態にしてください。
	パソコン搭載のチップセット、グラフィックのドライバーを更新していますか？	最新のドライバーに更新してください。
	LAN（有線やワイヤレス）のドライバーを更新していますか？	最新の LAN のドライバーをインストールしてください。 それでも改善しないときは、LAN を無効にしてください。
	Windows や Mac OS X の電源管理が省電力モードになっていませんか？	電源管理の設定をしてください（P.46）。
	USB ハブに本機を接続していませんか？	本機を直接/パソコン本体の USB 端子に接続してください。
	Windows ドライバーの設定【コンピュータ負荷を軽く】がオフになっていませんか？	【コンピュータ負荷を軽く】チェックボックスをオンにします（P.49）。
鍵盤を弾いてから、ソフトウェア・音源が鳴るまでに時間差（タイムラグ）が発生する	パソコンの起動した直後や、スリープ状態から復帰した直後に、再生や録音をしましたか？	しばらく待ってから、再生や録音をしてください。
	ソフトウェア音源のオーディオバッファを下げ（小さくし）ていますか？ サウンドカードのバッファを下げ（小さくし）ていますか？	ソフトウェア音源はその構造上、パソコンのサウンド・カードを使って音を鳴らします。しかし、ソフトウェア音源の音が、サウンド・カードから実際の音となって再生されるまでには、一般的に「レイテンシ」と呼ばれるタイムラグが発生します。 レイテンシは、どのようなソフトウェア音源とサウンド・カードとの組み合わせでも必ず発生するものですが、組み合わせやソフトウェア、サウンド・カードの設定によっては、実用上ほとんど支障がない程度まで縮めることができる場合もあります。 具体的な設定手順については、ソフトウェアやサウンド・カードの取扱説明書などをご覧ください。

トラブルを回避するパソコンの設定方法

『ドライバーをインストールするときのトラブル』(P.42)や『本機を使用するときのトラブル』(P.43)を回避するためのパソコンの設定方法です。

ドライバ署名オプションの設定 (Windows XP)

「ドライバ署名オプション」の設定が[ブロック]になっていると、ドライバーをインストールできません。以下のように設定してください。

1. 「コントロール パネル」を開いて[パフォーマンスとメンテナンス]をクリックし、[システム] アイコンをクリックします。
クラシック表示の場合は、[システム] をダブルクリックします。
2. [ハードウェア] タブをクリックし、続いて[ドライバの署名] をクリックします。
「ドライバ署名オプション」ダイアログが開きます。
3. 「ドライバ署名オプション」ダイアログで[警告] または[無視] を選び、[OK] をクリックします。
4. [OK] をクリックして、「システムのプロパティ」ダイアログを閉じます。
5. 『ドライバーのインストール』(P.13)の手順に従ってドライバーをインストールします。

インストールが完了したら、「ドライバ署名オプション」の設定を、変更前の設定に戻してください。

電源管理の設定

演奏中に音が途切れる、一部の音が抜けるなどの症状が発生した場合は、パソコンの電源管理の設定を変更することで解決することがあります。

Windows 8 / Windows 7 / Windows Vista

1. 「コントロール パネル」を開いて[システムとセキュリティ] または[システムとメンテナンス] をクリックし、[電源オプション] をクリックします。
 - Windows 8 と Windows 7 でアイコン表示のときは、[電源オプション] をダブルクリックします。
 - Windows Vista でクラシック表示のときは、[電源オプション] をダブルクリックします。
2. 「電源プランの選択」から、[高パフォーマンス] を選びます。
3. 「高パフォーマンス」の[プラン設定の変更] をクリックします。

Windows 8 と Windows 7 で「高パフォーマンス」が表示されていないときは、「追加のプランを表示します」をクリックします。

4. 「詳細な電源設定の変更」をクリックします。
5. 「電源オプション」の「詳細設定」タブ内にある「ハードディスク」の「+」をクリックし、「次の時間が経過後ハードディスクの電源を切る」の項目の「+」をクリックします。
6. 「設定」をクリックし、表示された下矢印をクリックして「なし」にします。
7. 「OK」をクリックし、「電源オプション」ウィンドウを閉じます。
8. 「プラン設定の編集」画面を閉じます。

Windows XP

1. 「コントロール パネル」を開いて、「パフォーマンスとメンテナンス」をクリックし、「電源オプション」をクリックします。
クラシック表示の場合は、「電源オプション」をダブルクリックします。
2. 「電源設定」タブをクリックし、「電源設定」を「常にオン」にします。
3. 「OK」をクリックして、「電源オプションのプロパティ」を閉じます。

Mac OS X

一部の Mac OS X では、この設定ができないことがあります。

1. 「システム環境設定」で「省エネルギー」をクリックします。
2. 「オプション」をクリックします。
3. 「プロセッサのパフォーマンス」を「最高」にします。

コントロール パネルを開くには Windows 8

1. スタート画面からデスクトップを表示します。
2. マウス・ポインターを画面の右上隅または右下隅に移動して、チャーム バーを表示します。
※ タッチ対応 PC では、画面の右側からスワイプして、チャーム バーを表示します。
3. 「設定」をクリックして、「設定チャーム」を表示します。
4. 「設定チャーム」の「コントロール パネル」をクリックし、「コントロール パネル」を開きます。

ドライバーを再インストールする

ドライバーのインストールで問題が発生した場合は、以下の手順でドライバーを再インストールしてください。

1. ドライバーを削除します。
2. もう一度『ドライバーのインストール』(P.13)に従って、ドライバーをインストールします。

ドライバーを削除する

本機がパソコンに正しく認識されないときは、以下の手順でドライバーを削除し、もう一度『ドライバーのインストール』(P.13)に従ってドライバーをインストールしてください。

Windows

1. 本機を接続していない状態で、Windows を起動します。
USB キーボードと USB マウス以外のすべての USB ケーブルをはずした状態にします。
2. アカウントの種類がパソコンの管理者であるユーザー名 (Administrator など) でログインします。
3. 付属の CD-ROM を、パソコンの DVD-ROM ドライブに入れます。
4. 付属の CD-ROM の [WinDriver] フォルダーにある [Uninstall] をダブルクリックします。
5. ユーザー アカウント制御に関する確認が表示されたときは、[はい] または [続行] をクリックします。
6. 「インストールされている A-Series Keyboard Driver をアンインストールします。」と表示されたら、[OK] をクリックします。
その他のメッセージが表示された場合は、そのメッセージに従ってください。
7. 「アンインストールを完了しました。」と表示されたら、[OK] をクリックして Windows を再起動します。

Mac OS X

1. 本機を接続していない状態で、Mac を起動します。

USB キーボードと USB マウス以外のすべての USB ケーブルをはずした状態にしておいてください。

2. 付属の CD-ROM をパソコンの DVD-ROM ドライブに入れます。
3. 付属の CD-ROM 内の [MacDriver] フォルダにある [Uninstaller] をダブルクリックします。
4. 「A-Series Keyboard ドライバを削除します。」と表示されたら、[アンインストール] をクリックします。
その他のメッセージが表示された場合は、そのメッセージに従ってください。
5. 「ドライバを削除します。よろしいですか？」と表示されたら、[OK] をクリックします。
認証ダイアログまたは「パスワードを入力してください」というダイアログが表示されます。
6. パスワードを入力し、[OK] をクリックします。
7. 「アンインストールが完了しました。」と表示されますので、[再起動] をクリックして Mac を再起動します。

Mac が再起動するまでに時間がかかることがあります。

MIDI の負荷を軽くする (Windows)

ドライバー設定ダイアログで、MIDI の負荷を軽くすることができます。

1. 本機を使用しているすべてのソフトウェアを終了します。
2. 「コントロール パネル」を開いて、表示方法を以下のように切り替えます。
Windows 8 / Windows 7 : アイコン表示
Windows Vista / Windows XP : クラシック表示
3. 表示された A-Series Keyboard アイコンをダブルクリックします。
「A-Series Keyboard Driver の設定」ダイアログが表示されます。
4. [コンピュータ負荷を軽く] チェックボックスにチェックを入れます。
5. [OK] をクリックします。

主な仕様

ローランド A-49 : MIDI キーボード・コントローラー

キーボード	49 鍵 (ペロシティー対応)
コントローラー	ボタン : [S1] [S2] (アサインابل) つまみ : [C1] [C2] (アサインابل) フット・ペダル : ホールド、エクスプレッション [ピッチ・ベンド/モジュレーション] レバー D ビーム・コントローラー
ボタン	[FUNCTION] ボタン [SuperNATURAL] ボタン [+] [-] ボタン [TRANPOSE] ボタン
ディスプレイ	POWER インジケーター LED OCTAVE / TRANPOSE インジケーター LED
接続端子	HOLD 端子 : 標準タイプ EXPRESSION 端子 : TRS 標準タイプ MIDI OUT 端子 USB COMPUTER 端子 (USB タイプ B)
電源	USB COMPUTER 端子より取得
消費電流	98mA
外形寸法	836 (幅) × 182 (奥行) × 84 (高さ) mm
質量	2.5kg
付属品	取扱説明書 A-Series Keyboard CD-ROM USB ケーブル SONAR LE DVD-ROM (Windows) SONAR LE インストールガイド (Windows) 保証書 ローランド ユーザー登録カード
別売品	ペダル・スイッチ (DP-2 / DP-10) エクスプレッション・ペダル (EV-5 / EV-7)

※ 製品の仕様や外観は、改良のため予告なく変更することがあります。

MIDI インプリメンテーション・チャート

Date : Sep. 1, 2012

Version : 1.00

Model: A-49

ファンクション ...		送信	受信	備考
ベーシック チャンネル	電源 ON 時 設定可能	1 1 ~ 16	× ×	
モード	電源 ON 時 メッセージ 代用	モード 3 OMNI ON/OFF, MONO, POLY *****	× × ×	
ノート ナンバー	: 音域	0 ~ 127 *****	× ×	
ベロシティ	ノート・オン ノート・オフ	○ (9n v=1 ~ 127) ○ (8n v=1 ~ 127)、(9n v=0)	× ×	
アフター タッチ	キー別 チャンネル別	× ○	× ×	
ピッチ・ベンド		○	×	
コントロール・ チェンジ	0-119	○	×	
プログラム チェンジ	: 設定可能範囲	○ (0 ~ 127) *****	× ×	
エクスクルーシブ		○	○	
コモン	: ソング・ポジション : ソング・セレクト : チューン	○ ○ (0 ~ 127) ○	× × ×	
リアルタイム	: クロック : コマンド	○ ○	× ×	
その他	: オール・サウンド・オフ : リセット・オール・コントローラー : ローカル ON/OFF : オール・ノート・オフ : アクティブ・センシング : システム・リセット	○ *1 (120) ○ *1 (121) ○ ○ *1 (123) ○ ○ ○	× × × × × × ×	
備考		*1 PANIC 送信時		

モード 1 : オムニ・オン、ポリ モード 2 : オムニ・オン、モノ ○ : あり
 モード 3 : オムニ・オフ、ポリ モード 4 : オムニ・オフ、モノ × : なし

索引

記号

[+] [-] ボタン..... 11

A

AFTERTOUCH..... 33

[ASSIGN] ボタン ... 10、30

B

BANK SELECT LSB 27

BANK SELECT MSB 27

C

[C1] つまみ 31

[C2] つまみ 31

CHANNEL 26

CTRL DIR..... 40

D

D ビーム..... 10、30

D ビーム・コントローラー 10

E

EXPRESSION 端子 ... 12、32

F

FACT RESET 41

[FUNCTION] ボタン ... 10

FUNCTION モード 23

H

HOLD 端子..... 12、32

K

KEY VELO 36

L

LSB..... 27

M

MIDI CHANNEL 26

MIDI OUT 端子 12

MIDI Visual Control.... 25

MIDI Visual Control モード
..... 25

MIDI 送信チャンネル ... 26

MIDI の負荷を軽くする... 49

MSB..... 27

O

OCTAVE / TRANSPOSE イ
ンジケーター 11

P

PANIC 33

[PITCH] ボタン..... 10、30

POWER インジケーター... 10

PRGM CHANGE 37

S

SN SETTING 36

SuperNATURAL 24

SuperNATURAL モード... 24

T

[TRANPOSE] ボタン... 11

U

USB COMPUTER 端子... 12

V

VELO CURVE 35

[VOL] ボタン 10、30

あ

アフタータッチ..... 33

え

エクスプレッション 32

お

オクターブ・シフト 28

音色 26

こ

コントロール・チェンジ・ナ
ンバー 38

と

動作モード 22

ドライバ

インストール..... 13

切り替え 40

再インストール..... 48

削除 48

トランスポーズ..... 28

な

鳴りやまない 33

は

パニック..... 33

バンク 27

バンク・セレクト LSB.... 27

バンク・セレクト MSB... 27

ひ

ピッチ・ベンド..... 29

[ピッチ・ベンド/モジュレ
ーション] レバー..... 10

ふ

プログラム・チェンジ... 37

へ

ベロシティ 35、36

ベロシティ・カーブ... 35

ほ

ホールド..... 32

も

モード 22

モジュレーション..... 29

MEMO

MEMO

困ったときは

「使いかたがわからない」、「正しく動作しない」など、困ったときはお気軽にローランドお客様相談センターへご連絡ください。

お問い合わせの窓口

● 製品に関するお問い合わせ先

ローランドお客様相談センター **050-3101-2555**

電話受付時間： 月曜日～土曜日 10:00～17:30（年末年始を除く）

※IP電話からおかけになって繋がらない場合には、お手数ですが、電話番号の前に“0000”（ゼロ4回）をつけてNTTの一般回線からおかけいただくか、携帯電話をご利用ください。

※上記窓口の名称、電話番号等は、予告なく変更することがありますのでご了承ください。

● 最新サポート情報

製品情報、イベント／キャンペーン情報、サポートに関する情報など

ローランド・ホームページ <http://www.roland.co.jp/>

'07. 10. 01 現在（Roland）

